

1. 件名：東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所特定原子力施設
乾式キャスク仮保管設備に関する面談

2. 日時：令和5年11月7日（火） 14時10分～15時40分

3. 場所：原子力規制庁2階中コア会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部

検査グループ 専門検査部門

山元首席原子力専門検査官、川下企画調査官、丸山主任原子力専門検査官、

馬場原子力専門検査官、佐藤原子力専門検査官、山中原子力専門検査官

東京電力ホールディングス（株）

福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所

プール燃料取り出しプログラム部

5・6号燃料取り出しプロジェクトグループ担当 他3名

5. 要旨

○東京電力ホールディングス（株）から、乾式キャスク仮保管設備の事業者検査のうち気密漏えい検査成績書に記載されている計測器の誤りについて説明を行いたい旨の申出があり、面談を行った。

○東京電力ホールディングス（株）から、資料に基づき、以下の説明があった。

- ・成績書に記載されている計測器の誤りの経緯
- ・検査結果への影響評価
- ・原因と対策
- ・事業者検査の再検査の実施

○原子力規制庁は、事業者検査の際に使用した計測器の確認に必要となる事実関係等について整理の上、詳細な説明を行うよう求めた。

○東京電力ホールディングス（株）より了承した旨回答があった。

6. その他

資料：乾式キャスクの社内検査成績書における計測器番号の誤りについて